

事業概要票

事例NO. 69

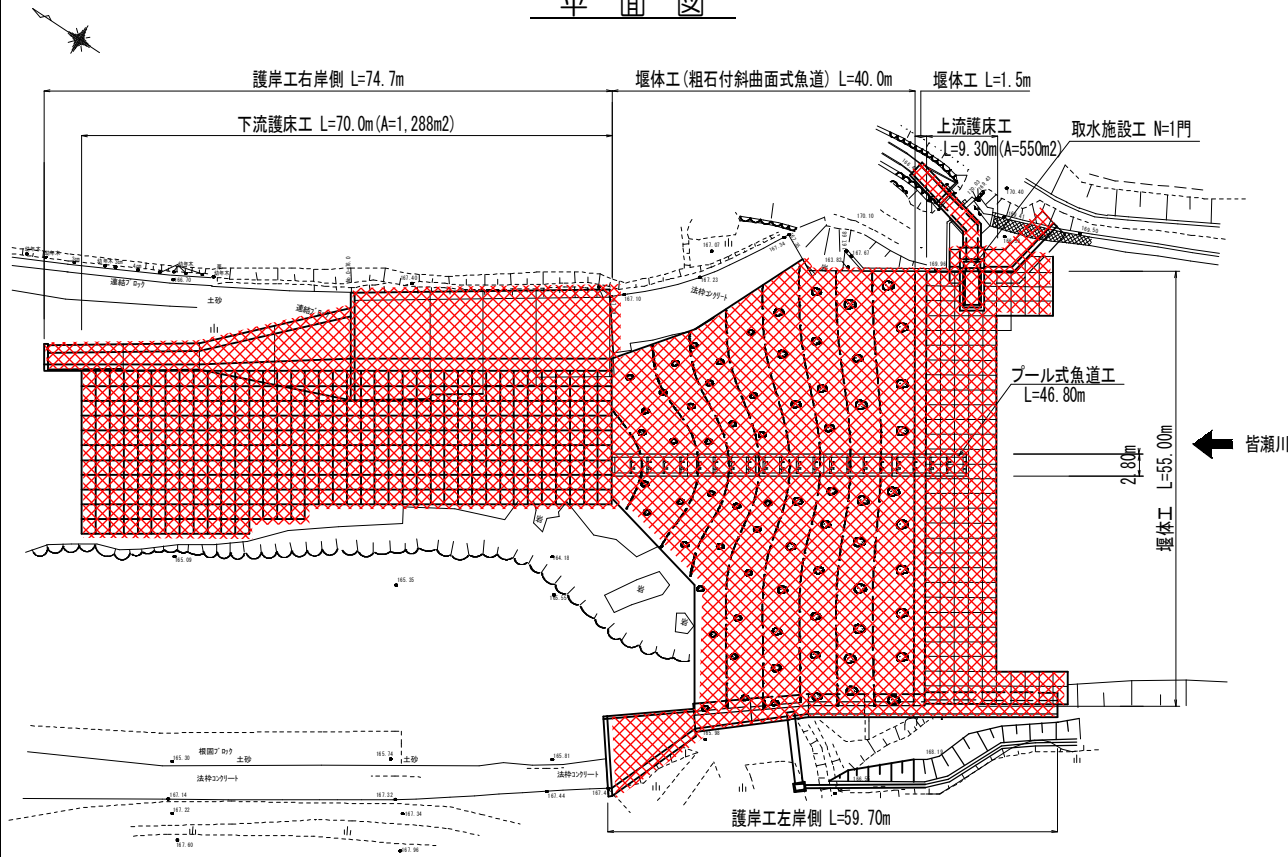
事例キーワード

魚類の円滑な遡上
環境との調和

事業名		ため池等整備事業（河川対応） 新処堰地区	魚類の円滑な遡上 環境との調和
事業担当機関		雄勝地域振興局農林部農村整備課	
工事期間		平成25年9月6日～平成26年3月14日	
実施場所		湯沢市稲庭町字小沢	
事業概要	工事費	164百万円	
	工事概要	堰体工 L=55m、魚道工 L=47m、護岸工 L=134m、護床工 A=1,838m ² 、取水施設工 N=1門	
	事業の目的	新処頭首工は一級河川皆瀬川右岸より取水し、水田135.7haを潤す頭首工である。 近年、河床低下に伴う施設の破損等老朽化が著しく、洪水時に固定堰決壊の恐れもあり、非常に危険な状態となっていた。 このため、本事業により頭首工を改修し、施設の強化を図るとともに、河川環境に配慮し、アユやヤマメなどの魚類が遡上しやすい構造とする。	
環境配慮の内容	1.工法検討 学識経験者や地元漁業協同組合、地元住民を交えた環境検討委員会を開催し改修工法の検討を行った。		
	2.魚類の円滑な遡上 固定堰全体に緩やかな勾配を持たせ、現地の自然石を配置した。併せて固定堰中央部にはプール式魚道を設置し、流れに多様性をもたせることから様々な魚類がスムーズに遡上できる構造とした。		
	3.環境との調和 上記構造を選定したことにより、景観及び環境との調和を図った。		
	4.施工時における排水浄化沈殿池の設置 施工時、仮締切内排水釜場において、環境配慮型濁水処理フィルターを配置した排水浄化沈殿池を設置し、濁水流下防止に努めた。		
施工後の状況	・ 頭首工施設の強化が図られ、農業用水が安定して確保されている。 ・ 漁業協同組合への聞き取りにより、魚類の良好な遡上が確認されている。 ・ 現地の自然石を用いたことにより、周辺環境と調和の取れた景観となっている。		

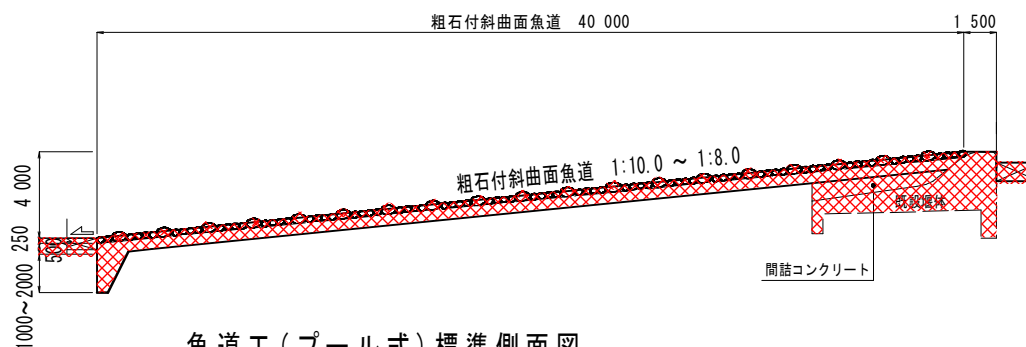
図面、写真、説明

平面図

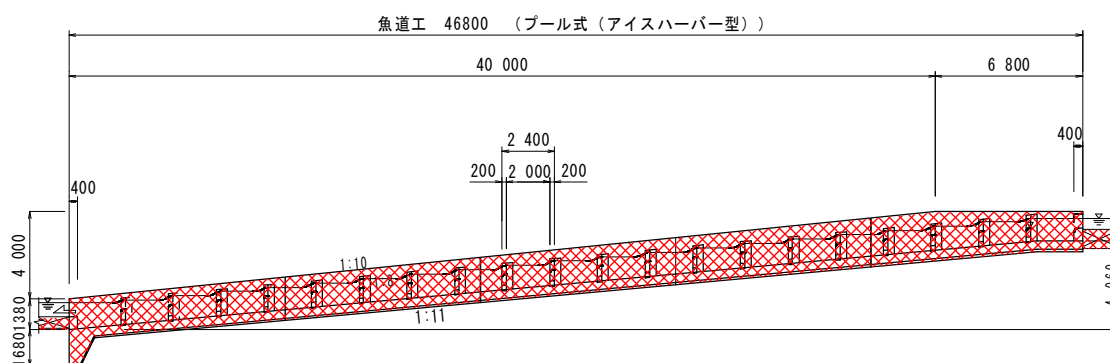


図面、写真、説明

堰体工標準断面図



魚道工（プール式）標準側面図



新処頭首工 全景（左岸側より）



堰体工(粗石付斜曲面魚道)（左岸側より）



中央がプール式魚道（下流側より）



施工時 排水浄化沈殿池の設置状況（仮締切内）

